



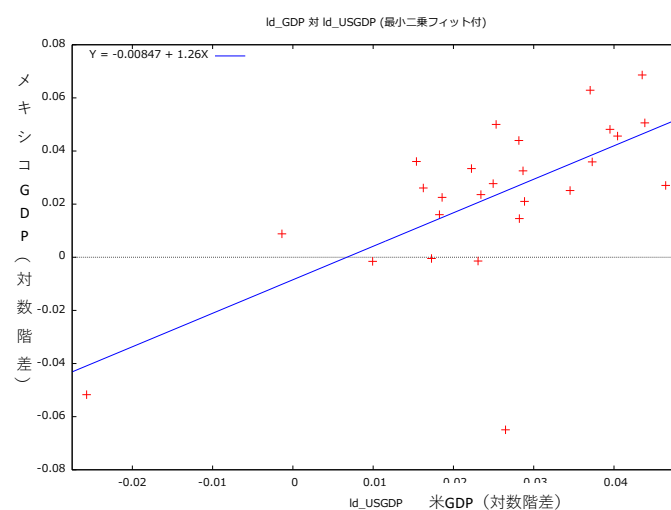
2020年5月12日

## メキシコ経済見通しのラフスケッチ

公益財団法人 国際通貨研究所  
 経済調査部 上席研究員 森川 央

4-6月期の米国経済は歴史的な落ち込みが避けられない見通しで、当然、その隣国であるメキシコにも大きな打撃となると思われる。北米自由貿易協定が発効した1994年以降、両国の実質成長率の相関係数は0.6406となっている（図表1）。

図1 米国（X軸）とメキシコ（Y軸）の実質GDP成長率



(資料) Reuter

そこで、メキシコの成長率を米国の成長率ほかで推計してみた。変数は、すべて対数階差（≒%変化）をとっている。

モデル:最小二乗法(OLS), 観測: 1994-2019 (T = 26)

従属変数: ld\_GDP

	係数	Std. Error	t値	p値	
定数項	-0.00482387	0.00740203	-0.6517	0.5213	
米国実質GDP	0.932174	0.235023	3.966	0.0007	***
実質実効為替レート	-0.122075	0.0306865	-3.978	0.0006	***
メキシコ政府消費	0.322241	0.185797	1.734	0.0968	*

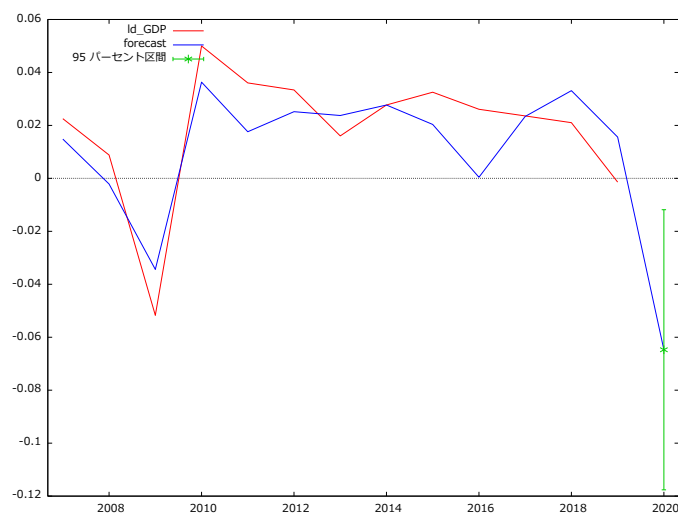
Mean dependent var	0.023084	S.D. dependent var	0.030152
Sum squared resid	0.006503	S.E. of regression	0.017192
R-squared	0.713914	Adjusted R-squared	0.674903
F(3, 22)	18.30002	P-value(F)	3.49e-06
Log-likelihood	70.92521	Akaike criterion	-133.8504
Schwarz criterion	-128.8180	Hannan-Quinn	-132.4013
rho	-0.055080	Durbin-Watson	2.043599

伸び率を対象とした推計で自由度修正済み決定係数 0.6749、ダービンワトソン比 2.04 という結果は合格点と考えられよう。

次に、この推計式を基に 2020 年のメキシコの成長率見通しを試算してみたい。前提として、米国経済の成長率を-5.5%とする。実質実効為替レートは名目為替レートと内外インフレの見通しから 15%下落（指数の数値は増加）すると想定した。そしてメキシコの政府消費（実質）は、リーマンショック時の経験から 3%増と予想した。

その結果、メキシコの実質 GDP 成長率は-6.5%、95%信頼区間は-11.8%から-1.2%となった。IMF の見通し（2020 年春 World Economic Outlook）も、2020 年の見通しを-6.6%としており、ほぼ一致することになった。予測機関のメキシコの成長率予想はまだ出そろっていないが、今後マイナス 6%台を中心に更新されていくと思われる。

図 2 メキシコの実質 GDP 成長率（対数階差≒%変化）推計結果



以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。